

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績																																																																				
1. 農業委員会費	<p>今年度は農業委員の改選期にあたり、平成26年7月1日に告示され、公選定数12人に対し、立候補者が同数であったため無投票となり、農協から推薦された1人の選任委員を合わせ13人で農業委員会を構成した。</p> <p>農地小委員会と農業振興小委員会の二小委員会とし、平成26年7月22日に第1回農業委員会総会を開催し、会長に渡邊睦実委員、会長職務代理者に早坂寿順委員、農地小委員会委員長に長屋義孝委員、同副委員長に佐藤輝実委員、農業振興小委員会委員長に山田英寿委員、同副委員長に足立雅人委員を選出した。</p> <p>農業委員の質的向上を目指し、3年に1度、道外研修を実施しているが、今年は12月1日から4日まで農業委員13人が参加して実施した。また、遊休農地の発生防止に向けて農業委員と事務局職員による「農地パトロール」を実施した。</p> <p>1. 農業委員会開催実績 平成26年4月～平成27年3月まで 12回</p> <p>2. 審議</p> <table border="1" data-bbox="379 770 1433 1400"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>件数</th> <th>面 積 (ha)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">農 地 法</td> <td rowspan="2">譲 渡</td> <td>贈 与 (3条)</td> <td>5</td> <td>93.4</td> </tr> <tr> <td>売 買 (3条)</td> <td>3</td> <td>18.0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">貸 借 (3条)</td> <td>15</td> <td>230.9</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">農地転用</td> <td>4 条</td> <td>5</td> <td>5.5</td> </tr> <tr> <td>5 条</td> <td>8</td> <td>3.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>13</td> <td>8.6</td> </tr> <tr> <td>一時転用</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="2">そ の 他 (3条)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">農業経営 基盤強化 促進法</td> <td rowspan="2">所 有 権 移 転</td> <td>売 買</td> <td>7</td> <td>37.9</td> </tr> <tr> <td>贈 与</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">貸 借</td> <td>貸 貸 借</td> <td>63</td> <td>296.5</td> </tr> <tr> <td>使用貸借</td> <td>2</td> <td>7.1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">現 況 証 明</td> <td>10</td> <td>1.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 委員会決定事項に基づく活動状況 (1) 農用地利用調整協議会活動 (実人数)</p> <table border="1" data-bbox="379 1503 1433 1682"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>譲渡・貸人</th> <th>譲受・借人</th> <th>面 積 (ha)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>所有権関係</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>37.9</td> </tr> <tr> <td>貸借権関係</td> <td>27</td> <td>55</td> <td>256.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>34</td> <td>60</td> <td>294.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 嘱託登記 ○ 住所変更 2件 ○ 所有権移転 8件</p> <p>(3) 小委員会等活動状況 ○ 農地小委員会 6回 ○ 農業振興小委員会 2回</p> <p>4. 主要業務実績 (1) 農地等一括生前贈与に係る税金関係・新規申請 ①贈与税納税猶予(暦年課税) 一件 ②不動産取得税徴収猶予 2件</p>	区 分		件数	面 積 (ha)	農 地 法	譲 渡	贈 与 (3条)	5	93.4	売 買 (3条)	3	18.0	貸 借 (3条)		15	230.9	農地転用	4 条	5	5.5	5 条	8	3.1	計	13	8.6	一時転用	—	—	そ の 他 (3条)		—	—	農業経営 基盤強化 促進法	所 有 権 移 転	売 買	7	37.9	贈 与	—	—	貸 借	貸 貸 借	63	296.5	使用貸借	2	7.1	現 況 証 明		10	1.9	区 分	譲渡・貸人	譲受・借人	面 積 (ha)	所有権関係	7	5	37.9	貸借権関係	27	55	256.4	計	34	60	294.3
区 分		件数	面 積 (ha)																																																																		
農 地 法	譲 渡	贈 与 (3条)	5	93.4																																																																	
		売 買 (3条)	3	18.0																																																																	
	貸 借 (3条)		15	230.9																																																																	
	農地転用	4 条	5	5.5																																																																	
		5 条	8	3.1																																																																	
		計	13	8.6																																																																	
		一時転用	—	—																																																																	
そ の 他 (3条)		—	—																																																																		
農業経営 基盤強化 促進法	所 有 権 移 転	売 買	7	37.9																																																																	
		贈 与	—	—																																																																	
	貸 借	貸 貸 借	63	296.5																																																																	
		使用貸借	2	7.1																																																																	
現 況 証 明		10	1.9																																																																		
区 分	譲渡・貸人	譲受・借人	面 積 (ha)																																																																		
所有権関係	7	5	37.9																																																																		
貸借権関係	27	55	256.4																																																																		
計	34	60	294.3																																																																		

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績						
	(2) 農地等一括生前贈与に係る税金関係・継続申請						
		件数	猶予税額				
	①贈与税納税猶予	16件	35,661,700円				
	②不動産取得税徴収猶予	19件	2,020,110円				
	(3) 諸証明事務						
	○ 不動産取得税特別控除に係る証明					5件	
	○ 登録免許税軽減措置に係る証明					5件	
	○ 譲渡所得税特別控除に係る証明					6件	
	○ 営農証明					16件	
	(4) 農地パトロール 11月11日に全町パトロールを実施した。						
	(5) 農業委員視察研修						
	と き	12月1～4日					
	と ころ	福知山市、京都府、伊賀市、美濃市					
	第1日目は、福知山市の(株)ポテトフーズで、会社の概要説明を受けポテトサラダの製造工程と、馬鈴薯貯蔵庫の見学を行い、生産した農産物の流通、加工について学ぶことができた。						
	第2日目の最初の研修先は、京都府に本社のあるタキイ種苗(株)で、会社の概要を説明後、品質管理センター内にある、発芽検査室、病理検査室の見学を行った。徹底した種の品質管理、病気に強い種、確実に発芽する種の生産を行っている事が実感できた。次に、6次産業の先進事例として、伊賀市にある伊賀の里手づくりモクモクファームを見学。ファーム内にあるレストランで昼食を取ったが、提供されている料理の食材のほとんどが、ファーム内で生産、加工された食材を使っていた。その後、常務取締役の松永氏から設立経過と現状・これまでの取組、今後の経営戦略についての説明後意見交換を行った。						
	第3日目は、美濃市を表敬訪問しその後、うだつの町並みを見学した。						
	(6) 農業者年金推進事業						
	代議員会	4月10日		庁議室			
			受給者数				
	区 分	加 入 者 数 (被保険者)	計	新制度		旧制度	
				老齡年金	特例付加	老齡年金	移讓年金
	26年度新規	12	4	1	0	1	2
	26年度末実績	195	300	18	13	30	239
	支給額		100,208,871円				
	(7) 農業担い手支援協議会の活動状況						
	①第21回北海道十勝農業青年との交流会						
	本町から2人の青年が参加し、北十勝4町の青年と関西近郊女性との交流会の場を設けた。						
	と き	11月29日(土)～30日(日)					
	と ころ	大阪市 レストラン バンダリア					
	参加人数	男性8人 女性10人					
	主催：北十勝四町(鹿追町、士幌町、上士幌町、音更町)						
	「北海道十勝農業青年との交流会成婚者数」						
		町名	士幌	上士幌	音更	鹿追	計
	実施年・場所						
	H2～4年 帯広北海館		1	—	1	—	2
	H6～26年 関西交流会		7	5	9	※6.5	27.5
	計		8	5	10	6.5	29.5
	※印は交流会参加女性が交流会不参加の青年と成婚						

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績															
	<p>②第2回十勝四町ふれあいパーティーinSapporo 平成24年度に新設した枠組みで札幌圏女性との交流の場を設け、本町から1人の青年が参加した。</p> <p>と き 12月6日(土) と ころ 札幌市 オリエンタルラウンジJ I S 参加人数 男性5人 女性11人 主催：十勝四町(清水町、芽室町、士幌町、上士幌町)</p> <p>③第1回ALLとかちふれあいパーティーinSapporo 平成26年度に新設した枠組みで札幌圏女性との交流の場を初めて設け、本町から3人の青年が参加した。</p> <p>と き 平成27年1月17日(土) と ころ 札幌市 札幌テレビ塔2階会議室 参加人数 男性12人 女性10人 主催：十勝6町(清水町、音更町、士幌町、上士幌町、池田町、大樹町)</p> <p>④十勝交流会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3回十勝四町ふれあいパーティー 平成24年度に十勝圏を対象にした事業を四町で設け、本町から青年の参加が無かったが、他町の青年と十勝管内を基本とした女性と交流した。また、本年は、日本ハム応援日帰りツアーとして行った。 <p>と き 6月28日(土) と ころ 札幌市 札幌ドーム 参加人数 男性6人 女性6人 主催：十勝四町(清水町、芽室町、士幌町、上士幌町)</p> <p>⑤第12回帯広交流会(町単独開催) J A士幌町青年部が異業種交流会として参加意志のある青年だけで実行委員会を立ち上げ、企画に工夫を凝らして十勝管内独身女性と交流を深めた。</p> <p>と き 11月22日(土) と ころ 帯広市 串焼き創作料理よにき 参加人数 男性15人 女性17人</p> <p>⑥農業担い手成婚者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第5回農業担い手パートナー「バス遠足」 と き 7月15日(火) と ころ 農協記念館・士幌高校・ヌプカの里 参加人数 若妻12人、女性役員4人 ・道外成婚者「茶話会」 と き 11月26日(水) と ころ きくや 参加人数 若妻2人、女性役員4人 <p>⑦個別推進 農業青年と結婚希望女性で1対1の会食の場を5回行った。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">8月10日(日)</td> <td style="width: 40%;">畑作青年37歳・女性35歳</td> <td style="width: 30%;">帯広市内で昼食</td> </tr> <tr> <td>9月4日(木)</td> <td>酪農青年31歳・女性29歳</td> <td>町内で昼食</td> </tr> <tr> <td>11月14日(金)</td> <td>畑作青年36歳・女性36歳</td> <td>帯広市内で夕食</td> </tr> <tr> <td>平成27年3月9日(月)</td> <td>畑作青年34歳・女性36歳</td> <td>上士幌町で夕食</td> </tr> <tr> <td>〃 3月25日(水)</td> <td>酪農青年36歳・女性31歳</td> <td>町内で昼食</td> </tr> </table> <p>⑧農村生活体験希望者活動 農業青年の良きパートナーとなる女性との出会いの場を設けるため、ホームページ等で周知したところ1件問い合わせがあった。 大分県24歳女性をJ A士幌町の全面協力により畑作農家に受け入れたが、慣れない環境下での生活体験が続かず、青年との出会いの場を設けることはできなかった。</p>	8月10日(日)	畑作青年37歳・女性35歳	帯広市内で昼食	9月4日(木)	酪農青年31歳・女性29歳	町内で昼食	11月14日(金)	畑作青年36歳・女性36歳	帯広市内で夕食	平成27年3月9日(月)	畑作青年34歳・女性36歳	上士幌町で夕食	〃 3月25日(水)	酪農青年36歳・女性31歳	町内で昼食
8月10日(日)	畑作青年37歳・女性35歳	帯広市内で昼食														
9月4日(木)	酪農青年31歳・女性29歳	町内で昼食														
11月14日(金)	畑作青年36歳・女性36歳	帯広市内で夕食														
平成27年3月9日(月)	畑作青年34歳・女性36歳	上士幌町で夕食														
〃 3月25日(水)	酪農青年36歳・女性31歳	町内で昼食														

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績																																																																																																																																
	<p>⑨各種研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業関係者を対象にした講演会（町単独開催） 4回目となる担い手の親等を対象にした講演会は、本町商工観光活性化専門員野久和典氏を講師に迎え開催した。 と き 平成27年2月17日（火） と ころ J A士幌町2階会議室 演 題 物の流れ、人のながれ 参加人数 28人 <p>⑩その他</p> <p>平成23年度から設置してきた推進協力員2人制度は、本年度で終了した。</p>																																																																																																																																
2. 農業振興費	<p>1. 概要</p> <p>平成26年度の農業を顧みると、春耕期は高温・小雨で推移したため、播種作業は例年より早く終了したが、小麦の一部ほ場において、凍上害の影響による欠株や生育ムラが発生し、また、てん菜においては、4月下旬の低温障害により、大きな被害が発生し、当初から天候に悩まされたが、その後は好天に恵まれ、その他の作物もおおむね平年並みに生育し、小麦・てん菜において収量の低下があった他は、平年を上回る収量となった。</p> <p>農業を取り巻く情勢は、T P P交渉の進展や農業委員会・農協の改革に言及されるなど、農政は大きな転換期を迎えている。特にT P P交渉は、重要品目の関税が守られるのか重要な局面を迎え、予断を許さない状況にある。</p> <p>こうしたなかで、本町農業の持続的な発展を図るためには、需給動向を踏まえた計画的な作付けや生産コストのなおい層の低減、食の安全・安心の確保と環境負荷の軽減など環境と調和のとれた農業生産により、消費者等の信頼を得ていく取り組みが必要である。</p> <p>このため、足腰の強い農業・農業者の育成を図るべく、各種町単独事業の継続的な実施及び各種補助事業の積極的な活用をはじめ、施設等整備に対する長期低利子融資制度の活用、関係機関と連携した各種施策の推進など農業の振興を図った。</p> <p>2. 農業の動向</p> <p>(1) 農家数の動向 (単位：戸)</p> <table border="1" data-bbox="368 1323 1441 1435"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H25</th> <th>H24</th> <th>H23</th> <th>H22</th> <th>H17</th> <th>H12</th> <th>H7</th> <th>H2</th> <th>S60</th> <th>S55</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農家数</td> <td>377</td> <td>380</td> <td>383</td> <td>387</td> <td>394</td> <td>414</td> <td>449</td> <td>496</td> <td>517</td> <td>531</td> <td>561</td> </tr> </tbody> </table> <p>※農林業センサス数値（H23以降は産業振興課調べ）</p> <p>(2) 主要畑作物の作付け動向 (単位：ha、kg/10a)</p> <table border="1" data-bbox="368 1503 1399 2056"> <thead> <tr> <th></th> <th>馬鈴薯</th> <th>てん菜</th> <th>大豆</th> <th>小豆</th> <th>菜豆</th> <th>小麦</th> <th>スイートコーン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年</td> <td>2,110</td> <td>2,130</td> <td>385</td> <td>954</td> <td>499</td> <td>2,530</td> <td>601</td> </tr> <tr> <td>平成25年</td> <td>2,120</td> <td>2,140</td> <td>329</td> <td>954</td> <td>448</td> <td>2,570</td> <td>594</td> </tr> <tr> <td>平成24年</td> <td>2,111</td> <td>2,110</td> <td>383</td> <td>871</td> <td>428</td> <td>2,590</td> <td>602</td> </tr> <tr> <td>平成23年</td> <td>2,112</td> <td>2,160</td> <td>338</td> <td>863</td> <td>471</td> <td>2,640</td> <td>578</td> </tr> <tr> <td>平成22年</td> <td>2,150</td> <td>2,230</td> <td>270</td> <td>777</td> <td>549</td> <td>2,610</td> <td>571</td> </tr> <tr> <td>平成17年</td> <td>2,067</td> <td>2,360</td> <td>426</td> <td>910</td> <td>614</td> <td>2,451</td> <td>439</td> </tr> <tr> <td>平成12年</td> <td>2,539</td> <td>2,345</td> <td>293</td> <td>879</td> <td>513</td> <td>2,352</td> <td>443</td> </tr> <tr> <td>平成7年</td> <td>2,800</td> <td>2,361</td> <td>126</td> <td>791</td> <td>615</td> <td>2,104</td> <td>406</td> </tr> <tr> <td>平成2年</td> <td>2,990</td> <td>2,315</td> <td>109</td> <td>585</td> <td>612</td> <td>2,492</td> <td>312</td> </tr> <tr> <td>昭和60年</td> <td>3,200</td> <td>2,283</td> <td>223</td> <td>602</td> <td>421</td> <td>2,243</td> <td>146</td> </tr> <tr> <td>昭和55年</td> <td>2,778</td> <td>1,950</td> <td>574</td> <td>585</td> <td>725</td> <td>1,608</td> <td></td> </tr> <tr> <td>昭和50年</td> <td>3,011</td> <td>1,384</td> <td>650</td> <td>434</td> <td>839</td> <td>1,156</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		H26	H25	H24	H23	H22	H17	H12	H7	H2	S60	S55	農家数	377	380	383	387	394	414	449	496	517	531	561		馬鈴薯	てん菜	大豆	小豆	菜豆	小麦	スイートコーン	平成26年	2,110	2,130	385	954	499	2,530	601	平成25年	2,120	2,140	329	954	448	2,570	594	平成24年	2,111	2,110	383	871	428	2,590	602	平成23年	2,112	2,160	338	863	471	2,640	578	平成22年	2,150	2,230	270	777	549	2,610	571	平成17年	2,067	2,360	426	910	614	2,451	439	平成12年	2,539	2,345	293	879	513	2,352	443	平成7年	2,800	2,361	126	791	615	2,104	406	平成2年	2,990	2,315	109	585	612	2,492	312	昭和60年	3,200	2,283	223	602	421	2,243	146	昭和55年	2,778	1,950	574	585	725	1,608		昭和50年	3,011	1,384	650	434	839	1,156	
	H26	H25	H24	H23	H22	H17	H12	H7	H2	S60	S55																																																																																																																						
農家数	377	380	383	387	394	414	449	496	517	531	561																																																																																																																						
	馬鈴薯	てん菜	大豆	小豆	菜豆	小麦	スイートコーン																																																																																																																										
平成26年	2,110	2,130	385	954	499	2,530	601																																																																																																																										
平成25年	2,120	2,140	329	954	448	2,570	594																																																																																																																										
平成24年	2,111	2,110	383	871	428	2,590	602																																																																																																																										
平成23年	2,112	2,160	338	863	471	2,640	578																																																																																																																										
平成22年	2,150	2,230	270	777	549	2,610	571																																																																																																																										
平成17年	2,067	2,360	426	910	614	2,451	439																																																																																																																										
平成12年	2,539	2,345	293	879	513	2,352	443																																																																																																																										
平成7年	2,800	2,361	126	791	615	2,104	406																																																																																																																										
平成2年	2,990	2,315	109	585	612	2,492	312																																																																																																																										
昭和60年	3,200	2,283	223	602	421	2,243	146																																																																																																																										
昭和55年	2,778	1,950	574	585	725	1,608																																																																																																																											
昭和50年	3,011	1,384	650	434	839	1,156																																																																																																																											

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績									
	平成 26 年反収	3,746	5,760	296	296	208	438	1,480		
	平年反収	3,795	5,993	274	264	172	456	1,436		
	指 数	99	96	108	112	121	96	103		
3. 農業振興対策事業の実施状況										
国・道費を伴う補助事業の積極的な活用による農業振興を推進しているが、本年度においては、強い農業づくり事業補助金等により地域活性化に向けた事業を実施した。										
(1) 強い農業づくり事業補助金 (単位：円)										
	事業区分	事業内容				事業費	補助金			
①	整備事業	経営体育成支援事業 ・ 農業用機械等の導入 (16戸：21台)				132,986,166	37,227,000			
②	推進事業	リモートセンシングと車載型GPSを活用した小麦の適期刈取支援 ・ 写真撮影、解析・マップ作成、車載端末借上				1,500,677	700,000			
(2) その他国・道費等を伴う補助事業等 (単位：円)										
	事業種目名	事業内容				事業費	補助金			
①	農業経営基盤強化 資金利子補給事業	スーパーL資金借入農家への一部利子補給				11,169,612	5,584,895			
②	経営所得安定対策 直接支払推進事業	経営所得安定対策の実施に係る事務費補助				450,000	450,000			
③	青年就農給付金 事業 (経営開始型)	新規就農者の経営が安定するまで最長5年間、給付金を給付				3,000,000	3,000,000			
④	北海道地域づくり 総合交付金事業	小麦グレードアップ選別機整備事業				148,348,800	47,700,000			
⑤	機構集積協力金 交付事業	農地の集積と集約化のため農地を貸し付けた地域・農業者等へ協力金を交付				112,884,000	112,884,000			
(3) 町単独補助事業等										
	①農畜産物対策実行委員会負担金					210,000円				
	②農業後継者就農激励会負担金					99,685円				
	③農業振興対策本部助成金					778,116円				
	④農民組織運営活動助成金					1,400,000円				
	⑤農業担い手支援協議会活動助成金					1,210,000円				
	⑥コントラ会事業助成金					150,000円				
	⑦アグリ研究グループ活動助成金					427,000円				
	⑧循環型農業システム検討会活動助成金					20,181円				
	⑨家畜糞尿バイオガスプラント整備推進助成金					3,305,000円				
4. 農業後継者関係										
(1) 新規就農農業後継者調べ										
年度	H26	H25	H24	H23	H22	H21	H20	H19	H18	H17
人数	9	8	8	8	7	8	3	10	13	18
(2) 農業後継者結婚実績										
年度	H26	H25	H24	H23	H22	H21	H20	H19	H18	H17
組	5	8	7	6	3	9	7	6	9	11

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績						
	(3) 農業担い手未婚者調べ						
	年齢	30才未満	30～34	35～39	40～44	45～49	計
	人数	31	20	15	11	5	82
3. 農業振興 基金運用 事業費	1. 運用事業実績						
	(1) 一般基金						
		項 目	内 容		金 額 (円)		
	歳 入	基金利子収入				36,848,655	
		基金繰入金				27,580,000	
		計				64,428,655	
	歳 出	産業担い手確保育英事業		農大研修経費助成		500,000	
		農薬空袋処理事業		農薬空容器処理経費助成		329,000	
		農業廃棄物処理事業		農業用廃 ^ラ 処理経費助成		1,000,000	
				※他町費 1,064,000円			
		農業女性研修事業				27,580,000	
		積立金				34,997,855	
		運営費		報酬・旅費		21,800	
		計				64,428,655	
			年度末基金残高		470,164,843円		
	(2) 特別基金						
	1号基金						
	基金利子収入				12,606,324円		
	年度末基金残高				864,385,034円		
	2号基金						
基金利子収入				834,858円			
年度末基金残高				57,244,225円			
1号基金+2号基金				921,629,259円			
2. 不動産保有の明細							
(一般基金)							
住 所		地 目	面 積 (㎡)				
白老郡白老町字石山 109番地16		原 野	25,893				
" 109番地18		"	15,460				
" 109番地36		"	3,360				
計			44,713				
苫小牧市字植苗 112番地2		山 林	97,964				
" 112番地6		"	17,507				
計			115,471				
(特別基金)							
住 所		地 目	面 積 (㎡)				
苫小牧市字美沢 1番地3		山 林	53,144				
" 1番地5		"	13,008				
" 1番地6		"	11,147				
" 1番地7		宅 地	1,417.19				
計			78,716.19				

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績				
4. 農業振興人材育成基金運用事業費	運用事業実績				
	歳入	基金利子収入		1,417,006	
		基金繰入金		0	
		計		1,417,006	
	歳出	文化交流学生派遣事業負担金	交流学生派遣 ※他町費 2,920,000 円	580,000	
		人材育成団体活動助成	士幌啓明塾活動助成	150,000	
		農協青年・女性部研修講座等 受講助成	農協青年・女性部研修助成	135,000	
		農業後継者等海外研修助成金 積立金	海外研修助成	0	
		運営費	報酬・旅費	9,000	
		計		1,417,006	
年度末基金残高		138,116,467 円			
5. 畜産業費	1. 概要				
	<p>本町の生乳生産量は、過去最高の85,596トンとなり、デントコーンの品質が良好であることも影響し、前年対比102.2%と増産する実績となった。</p>				
	<p>生乳販売高についても乳価値上げにも後押しされ、史上最高の78億円となり、3年連続70億円の大会を超え、畜産物販売高が250億円に迫る大きな原動力となった。しかしながら今年度は、十勝管内から2戸の酪農家がホクレンから離脱したため、これまでの生乳共販体制に一石を投じる事になり、生乳取引の安定化や集送乳合理化などの指定団体の果たす役割と重要性を再考させられる年となった。</p>				
	<p>肉牛生産については、国産の出回り不足により、枝肉価格は堅調に推移したが、物材費が高止まりしており、関係諸対策を受けても収益は生産原価を大幅に下回る状況が続き、また日豪EPAが4月から2年目を迎え、牛肉関税も一段と引き下げられる事となり、今後の影響が懸念される中でTPP交渉においても、日米両政府間での協議や交渉12カ国による首席交渉官会合が開催されるなど、早期合意を意識した予断を許さない状況が続いている。</p>				
	<p>農水省の事業として高収益型畜産体制構築事業が立ち上がり、本町においてはJAを中心とする関係機関によって酪農畜産クラスター協議会を設立し、産地の取組項目や収益向上目標、担い手の中心的経営体等の計画を策定してきたところである。</p>				
	<p>また、士幌町家畜自衛防疫推進協議会は、隣国の韓国において昨年7月に口蹄疫が再発し12月以降だけで牛4件、豚156件、合計160件もの発生が確認され急速に拡大していることを受けて、本病の清浄化の難しさを改めて知るとともに、防疫体制の強化に備えた。また十勝管内における家畜の監視伝染病発生状況も依然として高い比率で発生しているため、今後とも十勝家畜保健衛生所との連携のもと、蔓延を最小限に抑える取り組みが必要である。</p>				
	<p>畜産振興としては、乳牛検定事業、酪農ヘルパー事業及び各種団体に対する助成を行った。</p>				
	2. 家畜飼養頭数 (単位：頭)				
	家畜の区分	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
	乳 牛	19,458	18,554	18,954	19,257
ホ ル 雄	33,706	37,388	38,495	36,991	
肉用種 (F1)	20,210	13,256	12,237	13,791	
黒 毛 和 牛	872	863	1,244	747	
馬	58	50	59	73	
計	74,304	70,111	70,989	70,859	

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績			
3. 農家戸数 (単位：戸)				
農家区分	平成 26 年度	平成 25 年度	平成 24 年度	平成 23 年度
搾 乳 農 家	69	71	75	77
肉 牛 農 家	41	42	43	45
4. 生乳生産動向 (単位：トン)				
	平成 26 年度	平成 25 年度	平成 24 年度	平成 23 年度
生 乳 生 産 量	85,596	83,793	83,886	84,829
5. 家畜伝染病予防法に基づく検査状況 家畜伝染病の発生やまん延を防止するため、次のとおり法第 5 条の検査を実施した。 また、牛のヨーネ病発生農家 3 戸に対して、法第 5 1 条の継続検査を実施している。				
区 分	頭数・群数	備 考		
牛の結核病・ブルセラ病・ヨーネ病	3,122	中士幌・佐倉地域の 24 か月齢以上の乳牛		
蜜 蜂 の 腐 蛆 病	0	飼養者が来町しなかったため検査せず		
6. 家畜改良増殖法による種畜検査				
区 分	頭 数	備 考		
種 雄 牛	4	黒毛和牛 3 頭、ホルスタイン種 1 頭		
種 雄 馬	4	北海道和種 2 頭、ポニー系種 2 頭		
7. 畜産振興助成金等事業 (単位：円)				
事 業 名	金 額			
乳牛検定事業活動助成金	1,680,000			
酪農振興協議会活動助成金	105,000			
肉牛振興会活動助成金	56,000			
馬事振興会活動助成金	28,000			
酪農ヘルパー事業助成金	3,700,000			
家畜品評会事業助成金	168,000			
8. 酪農振興基金事業運用実績 (単位：円)				
	項 目	内 容	金 額	
歳 入	基金利子収入		366,531	
	計		366,531	
歳 出	酪農振興基金運用委員会運営費	委員報酬	18,000	
	〃	委員費用弁償	1,760	
	酪農ヘルパー事業助成金	酪農ヘルパー事業助成 (一般財源に充当)	346,771	
	計		366,531	
年度末基金残高 250,617,000				

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績																																																	
6. 土 地 改 良 事 業 費	<p>1. 土地改良事業関係</p> <p>土地基盤整備の実施により農業生産性の向上と経営基盤の強化を図るため、主に暗渠排水及び石礫除去等の圃場整備を優先し、併せて、営農の基本となる湿害防止のための明渠排水、農道整備を実施した。</p> <p>団体営事業では、農道整備事業1地区（実勝第2）を実施した。</p> <p>道営事業では、農地整備事業継続4地区（士幌西部南、士幌北部、上居辺第2、西上第2）及び草地整備事業1地区（新田地区）の実施並びに士幌佐倉第2地区及び士幌地区（単独営農用水）の調査計画を実施した。</p> <p>国営事業では、かんがい排水事業継続2地区（富秋士幌川下流地区、士幌西部地区）を実施した。各事業の実施状況は次のとおりである。</p> <p>(1) 団体営事業 () 前年度</p> <table border="1" data-bbox="368 629 1428 864"> <thead> <tr> <th>事業区分</th> <th>地区名</th> <th>事業量</th> <th>事業費 (千円)</th> <th>新継別</th> <th>補助額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農道整備</td> <td>実勝第2</td> <td>(改) L=295m</td> <td>(19,730) 27,916</td> <td>継</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>小規模土地改良</td> <td>新田</td> <td>排水路 L=544m</td> <td>(10,710) 9,828</td> <td>新</td> <td>4,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 道営事業 () 前年度</p> <table border="1" data-bbox="368 898 1382 2069"> <thead> <tr> <th>事業区分</th> <th>地区名</th> <th>事業量</th> <th>事業費 (千円)</th> <th>新継別</th> <th>補助率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">道営農地整備</td> <td>士幌西部南</td> <td>区画整理 A=23.0ha 暗渠排水 A=7.2ha 石礫除去 A=6.2ha 農用地造成一式</td> <td>(388,450) 102,524</td> <td>継</td> <td>国・道 80</td> </tr> <tr> <td>士幌北部</td> <td>暗渠排水 A=4.2ha 石礫除去 A=19.3ha 客土 A=15.3ha</td> <td>(147,386) 143,000</td> <td>継</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>上居辺第2</td> <td>農道 L=3,204m 区画整理 A=29.8ha 暗渠排水 A=54.3ha 客土 A=4.2ha</td> <td>(455,592) 409,391</td> <td>継</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>西上第2</td> <td>調査設計 排水路一式 区画整理一式 暗渠排水一式 石礫除去一式</td> <td>(7) 54,648</td> <td>継</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table>					事業区分	地区名	事業量	事業費 (千円)	新継別	補助額 (千円)	農道整備	実勝第2	(改) L=295m	(19,730) 27,916	継	—	小規模土地改良	新田	排水路 L=544m	(10,710) 9,828	新	4,000	事業区分	地区名	事業量	事業費 (千円)	新継別	補助率 (%)	道営農地整備	士幌西部南	区画整理 A=23.0ha 暗渠排水 A=7.2ha 石礫除去 A=6.2ha 農用地造成一式	(388,450) 102,524	継	国・道 80	士幌北部	暗渠排水 A=4.2ha 石礫除去 A=19.3ha 客土 A=15.3ha	(147,386) 143,000	継	〃	上居辺第2	農道 L=3,204m 区画整理 A=29.8ha 暗渠排水 A=54.3ha 客土 A=4.2ha	(455,592) 409,391	継	〃	西上第2	調査設計 排水路一式 区画整理一式 暗渠排水一式 石礫除去一式	(7) 54,648	継	〃
事業区分	地区名	事業量	事業費 (千円)	新継別	補助額 (千円)																																													
農道整備	実勝第2	(改) L=295m	(19,730) 27,916	継	—																																													
小規模土地改良	新田	排水路 L=544m	(10,710) 9,828	新	4,000																																													
事業区分	地区名	事業量	事業費 (千円)	新継別	補助率 (%)																																													
道営農地整備	士幌西部南	区画整理 A=23.0ha 暗渠排水 A=7.2ha 石礫除去 A=6.2ha 農用地造成一式	(388,450) 102,524	継	国・道 80																																													
	士幌北部	暗渠排水 A=4.2ha 石礫除去 A=19.3ha 客土 A=15.3ha	(147,386) 143,000	継	〃																																													
	上居辺第2	農道 L=3,204m 区画整理 A=29.8ha 暗渠排水 A=54.3ha 客土 A=4.2ha	(455,592) 409,391	継	〃																																													
	西上第2	調査設計 排水路一式 区画整理一式 暗渠排水一式 石礫除去一式	(7) 54,648	継	〃																																													

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績					
道営農地整備	士幌佐倉 第 2	調査計画 一式	(0) 2	新	道 50	
	士幌(営)	調査計画 一式	(0) 1	新	〃	
道営草地	新 田	区画整理 A=179.2ha 施設整備 一式 調査設計 一式	(428, 730) 196, 130	継	国・道 75	
計		農 道 L=3, 204m 区画整理 A=232. 0ha 暗渠排水 A=65. 7ha 石礫除去 A=25. 5ha 農用地造成 一式 客 土 A=19. 5ha 調査設計 排水路 一式 区画整理 一式 暗渠排水 一式 石礫除去 一式	(1, 420, 165) 905, 696			
(単位：千円)						
	国・道補助金	北電等	地元負担金	うち町負担金 (PU助成含む)		
負担内訳	(1, 114, 693) 715, 389	(0) 0	(305, 472) 191, 106	(132, 436) 111, 014		
(3) 食料供給基盤強化特別対策事業						
担い手農家の育成・確保に向けた生産基盤の整備を促進するため、道と市町村が連携して農家負担を軽減した。負担割合及び負担額は次のとおりである。						
	地元負担					
		うち農家負担	うち道負担	うち町負担		
道営農地整備	20%	7. 5%	6. 25%	6. 25%		
負担額 (千円)	79, 330	29, 476	24, 790	25, 064		
(4) 国営かんがい排水事業						
	富秋士幌川下流地区調査設計・用地補償・工事	事業費	550, 000千円			
	士幌西部地区調査設計・用地補償・工事	事業費	500, 000千円			

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績																																																					
	<p>2. 町単独事業として実施した事業 明渠排水路維持工事として、吉野北地区明渠排水ほかを実施した。 14,429千円(12,044千円)</p> <p>3. 多面的機能支払交付金事業 平成19年度から実施している農地・水・環境保全向上対策事業は、平成24年度より農地・水保全管理支払交付金事業、平成26年度より多面的機能支払交付金事業として町内農村部全9地区が共同活動を行った。</p> <table border="1" data-bbox="368 528 1418 1090"> <thead> <tr> <th>地区名</th> <th>農用地面積 (ha)</th> <th>交付金 (千円)</th> <th>うち町負担 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>西上</td><td>1,399.79</td><td>14,062</td><td>3,516</td></tr> <tr><td>上居辺</td><td>2,600.45</td><td>32,425</td><td>8,106</td></tr> <tr><td>中士幌</td><td>929.33</td><td>10,485</td><td>2,621</td></tr> <tr><td>士幌南</td><td>2,012.44</td><td>23,807</td><td>5,952</td></tr> <tr><td>佐倉</td><td>1,502.53</td><td>11,787</td><td>2,947</td></tr> <tr><td>士幌北</td><td>1,510.04</td><td>17,378</td><td>4,344</td></tr> <tr><td>下居辺</td><td>1,118.96</td><td>9,011</td><td>2,253</td></tr> <tr><td>北中</td><td>1,734.33</td><td>10,248</td><td>2,562</td></tr> <tr><td>新田</td><td>1,646.08</td><td>8,418</td><td>2,104</td></tr> <tr><td>計</td><td>14,453.95</td><td>137,621</td><td>34,405</td></tr> </tbody> </table>					地区名	農用地面積 (ha)	交付金 (千円)	うち町負担 (千円)	西上	1,399.79	14,062	3,516	上居辺	2,600.45	32,425	8,106	中士幌	929.33	10,485	2,621	士幌南	2,012.44	23,807	5,952	佐倉	1,502.53	11,787	2,947	士幌北	1,510.04	17,378	4,344	下居辺	1,118.96	9,011	2,253	北中	1,734.33	10,248	2,562	新田	1,646.08	8,418	2,104	計	14,453.95	137,621	34,405					
地区名	農用地面積 (ha)	交付金 (千円)	うち町負担 (千円)																																																			
西上	1,399.79	14,062	3,516																																																			
上居辺	2,600.45	32,425	8,106																																																			
中士幌	929.33	10,485	2,621																																																			
士幌南	2,012.44	23,807	5,952																																																			
佐倉	1,502.53	11,787	2,947																																																			
士幌北	1,510.04	17,378	4,344																																																			
下居辺	1,118.96	9,011	2,253																																																			
北中	1,734.33	10,248	2,562																																																			
新田	1,646.08	8,418	2,104																																																			
計	14,453.95	137,621	34,405																																																			
7. 農地集団化事業費	<p>1. 概要 土地改良法に基づき昭和33年から農地等交換分合事業を実施していたが、昨年度に引き続き事業の実施には至らなかった。</p>																																																					
8. 農地利用集積円滑化事業基金運用事業費	<p>1. 事業による管理地</p> <table border="1" data-bbox="368 1296 1418 1529"> <thead> <tr> <th></th> <th>管理件数</th> <th>面積 (㎡)</th> <th>取得価格 (円)</th> <th>利子補給金 (円)</th> <th>管理費 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26度末管理地</td> <td>23</td> <td>1,540,443</td> <td>228,958,937</td> <td>3,131,484</td> <td>2,146,573</td> </tr> <tr> <td>平成26年度指定管理地</td> <td>3</td> <td>289,445</td> <td>35,713,408</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 運用事業実績</p> <table border="1" data-bbox="368 1597 1418 1968"> <thead> <tr> <th></th> <th>項 目</th> <th>内 容</th> <th>金 額 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">歳入</td> <td>基金利子収入</td> <td></td> <td>4,374,047</td> </tr> <tr> <td>運用益金</td> <td></td> <td>6,013,484</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>10,387,531</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">歳出</td> <td>管理費補助・利子補給金</td> <td></td> <td>5,278,057</td> </tr> <tr> <td>積立金</td> <td></td> <td>5,086,354</td> </tr> <tr> <td>運営費</td> <td>報酬・旅費</td> <td>23,120</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>10,387,531</td> </tr> <tr> <td colspan="3">年度末基金残高</td> <td>281,924,904円</td> </tr> </tbody> </table>						管理件数	面積 (㎡)	取得価格 (円)	利子補給金 (円)	管理費 (円)	平成26度末管理地	23	1,540,443	228,958,937	3,131,484	2,146,573	平成26年度指定管理地	3	289,445	35,713,408				項 目	内 容	金 額 (円)	歳入	基金利子収入		4,374,047	運用益金		6,013,484	計		10,387,531	歳出	管理費補助・利子補給金		5,278,057	積立金		5,086,354	運営費	報酬・旅費	23,120	計		10,387,531	年度末基金残高			281,924,904円
	管理件数	面積 (㎡)	取得価格 (円)	利子補給金 (円)	管理費 (円)																																																	
平成26度末管理地	23	1,540,443	228,958,937	3,131,484	2,146,573																																																	
平成26年度指定管理地	3	289,445	35,713,408																																																			
	項 目	内 容	金 額 (円)																																																			
歳入	基金利子収入		4,374,047																																																			
	運用益金		6,013,484																																																			
	計		10,387,531																																																			
歳出	管理費補助・利子補給金		5,278,057																																																			
	積立金		5,086,354																																																			
	運営費	報酬・旅費	23,120																																																			
	計		10,387,531																																																			
年度末基金残高			281,924,904円																																																			

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績																																																																																																							
9. 食品加工 施設費	<p>当施設は、農畜産物の加工研修及び研究を通じて、付加価値が高い個性豊かな風味あふれる特産品の開発と製造・販売を行い、農畜産加工品に対する消費者等の理解を深め、農業の振興と農村の活性化を図ることを目的として運営した。</p> <p>本町の特色ある教育の一つである、食農体験学習「大地くんと学ぼう」は、町内小中学生が、学校農園で育てた作物を素材に、加工実習を行うほか、地元で生産される農畜産物などを利用した食品加工体験をとおして、地域の産業や食育を学ぶなど、管内的にも注目される取り組みとして実施され、今年度は地場産品の美味しさを理解してもらうため使用する小麦粉を町内産に切替えPRにつとめた。</p> <p>町民向け研修は、多くの町民に活用してもらうため主催研修を年間8回のうち2回を初心者限定に、また、町民有志等のグループ（42団体）向けに延べ59回開催した。</p> <p>一方、新製品開発では、試作・検討を重ね数品について製品化し販売した。</p> <p>なお、原材料の高騰により製品の製造原価を見直し、一部の価格改定を行った。</p> <p>1. 研修等実施状況</p> <p>(1) 各研修等実施日数及び延べ人数 () 前年度</p> <table border="1" data-bbox="368 770 1409 1014"> <thead> <tr> <th>研修名</th> <th>日 数</th> <th>回 数</th> <th>延人数</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主 催 研 修</td> <td>8 (8)</td> <td>8 (8)</td> <td>55 (85)</td> <td>センター主催</td> </tr> <tr> <td>食農体験学習</td> <td>23(23)</td> <td>23(23)</td> <td>558 (529)</td> <td>町内各小中学校児童・生徒</td> </tr> <tr> <td>自 主 研 修</td> <td>55(56)</td> <td>59(60)</td> <td>411 (479)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>86(87)</td> <td>90(91)</td> <td>1,024(1,093)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>各種研修と食農体験学習は重複する日もある。26年度は1日間重複。 ・高校実習等126日使用（25年度125日） ・販売製品製造・点検・新製品開発39日使用（25年度40日）</p> <p>(2) 各種研修及び食農体験学習の製造品目別利用回数 (単位：回)</p> <table border="1" data-bbox="368 1153 1409 1391"> <thead> <tr> <th>研修名</th> <th>肉加工</th> <th>乳加工</th> <th>農産加工</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主 催 研 修</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>食農体験学習</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>18</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>自 主 研 修</td> <td>12</td> <td>36</td> <td>33</td> <td>81</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>17</td> <td>47</td> <td>56</td> <td>120</td> </tr> </tbody> </table> <p>1研修で2品目以上の製造の場合もある。</p> <p>2. 収入及び販売状況 () 前年度</p> <table border="1" data-bbox="368 1496 1409 2067"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項 目</th> <th colspan="2">製品区分の内訳</th> <th colspan="2">販売先の内訳</th> </tr> <tr> <th>区 分</th> <th>金額 (円)</th> <th>区 分</th> <th>金額 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">販 売 収 入</td> <td>肉 製 品</td> <td>3,775,026</td> <td>一 般 販 売</td> <td>4,240,171</td> </tr> <tr> <td>乳 製 品</td> <td>1,385,131</td> <td>町内道の駅等</td> <td>697,640</td> </tr> <tr> <td>農 産 製 品</td> <td>1,439,950</td> <td>ア ス ポ 販 売</td> <td>24,300</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>イ ベ ン ト 販 売</td> <td>1,637,996</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td></td> <td>(7,359,173)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6,600,107</td> </tr> <tr> <th>項 目</th> <th colspan="2">金額 (円)</th> <th colspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <td>施設使用料</td> <td colspan="2">(764,000) 699,282</td> <td colspan="2">基本使用料、加工室使用料、衛生管理費</td> </tr> <tr> <td>研修原材料費</td> <td colspan="2">(1,510,580) 1,620,800</td> <td colspan="2">肉、牛乳、小麦粉等、具材、調味料、包装資材など</td> </tr> </tbody> </table>					研修名	日 数	回 数	延人数	備 考	主 催 研 修	8 (8)	8 (8)	55 (85)	センター主催	食農体験学習	23(23)	23(23)	558 (529)	町内各小中学校児童・生徒	自 主 研 修	55(56)	59(60)	411 (479)		合 計	86(87)	90(91)	1,024(1,093)		研修名	肉加工	乳加工	農産加工	合 計	主 催 研 修	1	6	5	12	食農体験学習	4	5	18	27	自 主 研 修	12	36	33	81	計	17	47	56	120	項 目	製品区分の内訳		販売先の内訳		区 分	金額 (円)	区 分	金額 (円)	販 売 収 入	肉 製 品	3,775,026	一 般 販 売	4,240,171	乳 製 品	1,385,131	町内道の駅等	697,640	農 産 製 品	1,439,950	ア ス ポ 販 売	24,300			イ ベ ン ト 販 売	1,637,996	合 計			(7,359,173)				6,600,107	項 目	金額 (円)		備 考		施設使用料	(764,000) 699,282		基本使用料、加工室使用料、衛生管理費		研修原材料費	(1,510,580) 1,620,800		肉、牛乳、小麦粉等、具材、調味料、包装資材など	
研修名	日 数	回 数	延人数	備 考																																																																																																				
主 催 研 修	8 (8)	8 (8)	55 (85)	センター主催																																																																																																				
食農体験学習	23(23)	23(23)	558 (529)	町内各小中学校児童・生徒																																																																																																				
自 主 研 修	55(56)	59(60)	411 (479)																																																																																																					
合 計	86(87)	90(91)	1,024(1,093)																																																																																																					
研修名	肉加工	乳加工	農産加工	合 計																																																																																																				
主 催 研 修	1	6	5	12																																																																																																				
食農体験学習	4	5	18	27																																																																																																				
自 主 研 修	12	36	33	81																																																																																																				
計	17	47	56	120																																																																																																				
項 目	製品区分の内訳		販売先の内訳																																																																																																					
	区 分	金額 (円)	区 分	金額 (円)																																																																																																				
販 売 収 入	肉 製 品	3,775,026	一 般 販 売	4,240,171																																																																																																				
	乳 製 品	1,385,131	町内道の駅等	697,640																																																																																																				
	農 産 製 品	1,439,950	ア ス ポ 販 売	24,300																																																																																																				
			イ ベ ン ト 販 売	1,637,996																																																																																																				
	合 計			(7,359,173)																																																																																																				
			6,600,107																																																																																																					
項 目	金額 (円)		備 考																																																																																																					
施設使用料	(764,000) 699,282		基本使用料、加工室使用料、衛生管理費																																																																																																					
研修原材料費	(1,510,580) 1,620,800		肉、牛乳、小麦粉等、具材、調味料、包装資材など																																																																																																					

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績																																									
	<p>3. 新製品開発状況</p> <table border="1" data-bbox="368 286 1409 591"> <thead> <tr> <th data-bbox="368 286 890 344">新製品化し販売した製品</th> <th data-bbox="890 286 1409 344">新製品化検討中の製品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="368 344 890 591"> <ul style="list-style-type: none"> ・アイスクリーム（抹茶、コーヒー） ・カマンベールチーズ ・グリュイエールチーズ ・菓子類（マドレーヌ、シフォン他） ・ケーゼ（牛肉、鹿肉） ・国産スモークチキン </td> <td data-bbox="890 344 1409 591"> <ul style="list-style-type: none"> ・ブルーチーズ ・マスカルポーネチーズ ・シーベリーアイス ・どら焼き（ココア、抹茶） ・レトルトコーン </td> </tr> </tbody> </table>		新製品化し販売した製品	新製品化検討中の製品	<ul style="list-style-type: none"> ・アイスクリーム（抹茶、コーヒー） ・カマンベールチーズ ・グリュイエールチーズ ・菓子類（マドレーヌ、シフォン他） ・ケーゼ（牛肉、鹿肉） ・国産スモークチキン 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブルーチーズ ・マスカルポーネチーズ ・シーベリーアイス ・どら焼き（ココア、抹茶） ・レトルトコーン 																																				
新製品化し販売した製品	新製品化検討中の製品																																									
<ul style="list-style-type: none"> ・アイスクリーム（抹茶、コーヒー） ・カマンベールチーズ ・グリュイエールチーズ ・菓子類（マドレーヌ、シフォン他） ・ケーゼ（牛肉、鹿肉） ・国産スモークチキン 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブルーチーズ ・マスカルポーネチーズ ・シーベリーアイス ・どら焼き（ココア、抹茶） ・レトルトコーン 																																									
10. 林業振興費	<p>1. 民有林振興対策事業</p> <p>林業を取り巻く情勢は、木材価格の低迷など森林所有者の林業に対する関心は低下している。一方、森林の二酸化炭素吸収による地球温暖化防止や低炭素社会づくりを進めるために木材利用の拡大など森林・林業に対する期待が高まっている。</p> <p>このような状況を踏まえ、国や道による林業経営基盤整備の施策が展開され、管内の市町村や林業事業体で「緑の産業再生プロジェクト十勝推進委員会」を組織して森林整備や林業再生の施策が取り組まれた。本町でも関係機関と連携して林業の振興や民有林の整備を推進した。</p> <p>（1）未来につなぐ森づくり推進事業</p> <p>伐採後の確実な植林等を実施することにより、森林資源の循環利用を推進し、森林の持つ多面的機能の発揮をするため植栽事業の経費の一部を補助した。</p> <table border="1" data-bbox="368 1003 1257 1155"> <thead> <tr> <th>事業種</th> <th>事業量</th> <th>造林実施者への補助金</th> <th>うち道補助金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>造 林</td> <td>55.69ha</td> <td>7,471,223円</td> <td>4,597,649円</td> </tr> <tr> <td>準備地拵</td> <td>3.00ha</td> <td>247,085円</td> <td>152,052円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 林業関係団体負担金</p> <table border="1" data-bbox="368 1227 1257 1361"> <tbody> <tr> <td>（1）北海道治山林道協会十勝支部負担金</td> <td>66,000円</td> </tr> <tr> <td>（2）十勝流域森林・林業活性化センター負担金</td> <td>38,000円</td> </tr> <tr> <td>（3）北海道造林協会負担金</td> <td>60,000円</td> </tr> <tr> <td>（4）森林整備担い手対策推進事業負担金</td> <td>59,145円</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 有害鳥獣駆除事業</p> <p>エゾシカの生息環境等の変化に伴い農業被害が広範囲で発生しており、猟友会の協力を得て個体数調整捕獲や巡回などの対策を実施しているが、猟友会会員の減少など捕獲の担い手不足が課題となり、「くくりわな」の設置によるエゾシカ被害の軽減対策のため士幌町農業協同組合との共同事業として地域エゾシカ対策事業を実施した。</p> <p>キツネやカラスによる農畜産業被害や生活環境被害の対策として、銃器に加えて箱わなによる捕獲を通年実施した。</p> <p>平成22年度に組織した士幌町鳥獣被害防止対策協議会（構成団体：士幌町農業協同組合、十勝大雪森林組合、猟友会士幌部会、十勝総合振興局農業改良普及センター十勝北部支所、士幌町）では、有害鳥獣の一斉捕獲など鳥獣被害防止対策を行った。</p> <p>有害鳥獣捕獲状況 （単位：頭、羽、個）</p> <table border="1" data-bbox="368 1809 1369 1980"> <thead> <tr> <th>鳥獣区分</th> <th>エゾシカ</th> <th>キツネ</th> <th>カラス</th> <th>ドバト</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26年度</td> <td>99</td> <td>78</td> <td>51</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>25年度</td> <td>117</td> <td>74</td> <td>98</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>24年度</td> <td>131</td> <td>60</td> <td>63(11)</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>（ ）は卵で外書</p>		事業種	事業量	造林実施者への補助金	うち道補助金	造 林	55.69ha	7,471,223円	4,597,649円	準備地拵	3.00ha	247,085円	152,052円	（1）北海道治山林道協会十勝支部負担金	66,000円	（2）十勝流域森林・林業活性化センター負担金	38,000円	（3）北海道造林協会負担金	60,000円	（4）森林整備担い手対策推進事業負担金	59,145円	鳥獣区分	エゾシカ	キツネ	カラス	ドバト	26年度	99	78	51	23	25年度	117	74	98	15	24年度	131	60	63(11)	0
事業種	事業量	造林実施者への補助金	うち道補助金																																							
造 林	55.69ha	7,471,223円	4,597,649円																																							
準備地拵	3.00ha	247,085円	152,052円																																							
（1）北海道治山林道協会十勝支部負担金	66,000円																																									
（2）十勝流域森林・林業活性化センター負担金	38,000円																																									
（3）北海道造林協会負担金	60,000円																																									
（4）森林整備担い手対策推進事業負担金	59,145円																																									
鳥獣区分	エゾシカ	キツネ	カラス	ドバト																																						
26年度	99	78	51	23																																						
25年度	117	74	98	15																																						
24年度	131	60	63(11)	0																																						

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績						
	(1) 猟友会有害鳥獣駆除助成金 91,000円 (2) 有害鳥獣捕獲報償費 946,050円 (3) キツネ捕獲等委託料 398,400円 (4) カラス捕獲檻管理委託料 390,000円 (5) 地域エゾシカ対策事業助成金 70,310円 (6) くくりわな講習会開催費 62,640円 (7) 有害鳥獣対策無線機導入補助金 1,033,560円						
11. 林 道 費	<p>林道整備は、森林の多面的機能を維持的に発揮していくための基盤であり、持続可能な森林経営を実現するために簡易で丈夫な、使いやすい道づくりを進め林業の生産向上に努めており、本年度は、森林環境保全整備事業国庫補助事業道営林道「ワッカ美加登線」により、開設延長164mが実施された。</p> <p style="text-align: right;">(単位：千円)</p> <table border="1" data-bbox="368 741 1441 835"> <thead> <tr> <th></th> <th>国・道補助金</th> <th>町負担金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負 担 内 訳</td> <td>37,056</td> <td>12,352</td> </tr> </tbody> </table>		国・道補助金	町負担金	負 担 内 訳	37,056	12,352
	国・道補助金	町負担金					
負 担 内 訳	37,056	12,352					
12. そ の 他	<p>コミュニティーセンター利用状況</p> <table border="1" data-bbox="368 902 962 987"> <thead> <tr> <th>利用延べ団体数</th> <th>利用人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>580 団体</td> <td>7,633 人</td> </tr> </tbody> </table>	利用延べ団体数	利用人数	580 団体	7,633 人		
利用延べ団体数	利用人数						
580 団体	7,633 人						